

(2016年10月)

ハイチ共和国・政治・経済・社会情勢月報

<ポイント>

【政治】

- 2007年以来の規模である大型のハリケーン・マシューが国内南西部に上陸。(3日－4日)
- 安保理第7790回会合において、ハイチ安定化ミッション(MINUSTAH)の6か月のマンデート延長が決定された。(13日)
- 臨時選挙管理委員会(CEP)がハリケーン被害を受けた新選挙日程を発表した。(14日)

【経済・社会】

- アルカイエ市刑務所に収監されている266名の囚人のうち、172名が脱獄した。(22日)
- 9月インフレ率、前年同月比+12.5%。

1 政治(内政、外交)

(1) ハイチ内政・外交

- 4日 大型のハリケーン・マシュー(レベル4)がハイチ南西部に上陸。同ハリケーンはカリブ地域を直撃したものとしては2007年以来の規模。
- 6日 ハリケーン・マシューによる被害調査のため、プリヴェール(暫定)大統領はムリーン駐ハイチ米国大使及びジャン・バティスト(Alta JEAN-BAPTISTE)ハイチ市民保護局(DPC)局長と共に南部地域を視察した。
- 9日 メディーナ(Danilo MEDINA)ドミニカ共和国大統領がハイチを訪問。空港での2時間未満の訪問においてプリヴェール(暫定)大統領他と会談し、ハリケーン被害への支援を表明した。
- 13日 安保理第7790回会合において、ハイチ安定化ミッション(MINUSTAH)の6か月のマンデート延長が決定された。
- 14日 臨時選挙管理委員会(CEP)は、ハリケーン・マシューによる被害を受け、新たな選挙日程を発表。
11月20日 大統領選挙第1回投票、議会選挙第2回投票の一部、上院議員1/3の改選選挙
2017年1月29日 大統領選挙第2回投票、上院1/3改選選挙第2回投票等
2月20日 大統領選挙第2回投票の正式結果発表
- 15日 ハリケーンによる被害状況調査のため潘基文事務総長がハイチを訪問。
- 18日 ハリケーン被害への支援護衛として、ドミニカ共和国軍の入国を許可したことに関し、同決定が司法当局への協議なしに行われたことは憲法違反であるとして、破棄院が大統領の交代を求めるとの声明を発表。
- 22日 ベルランジェ(Leopold BERLANGER)CEP委員長は、選挙施設へのハリケーンによる被害調査のため、グランダンス県、南県及びニップ県を訪問した。CEPによれば、グランダンス県では86%、南県では71%の集計所(CV)が損害を受けており、国内全体では選挙全施設の30%が半壊若しくは全壊している。

- 25日 ハイチの人権状況調査のため、ガロン（Gustavo GALLON）国連独立専門家がハイチを訪問。ハリケーンの被害を受けた地域住民への対応の必要性や、刑務所の環境改善の必要性を指摘したほか、予定された日程で選挙が実施されることを期待すると述べた。また、ハリケーン・マシューによる被害状況について、17日付のOCHA報告として、死亡者数546名、被災者総数2.1百万人と伝えた。

（2）日・ハイチ関係

- 11日 ハリケーン・マシューによる被害に対する日本の緊急援助物資の引渡式が実施された。
- 21日 日本政府は、ハイチのハリケーン・マシュー被害に際し発出された国連 FLASH APPEAL に応え、緊急無償資金協力（合計3億円）の実施を決定。
- 27日 八田日本大使がジャン・シャルル首相を表敬の上、ハリケーン・マシュー被害に際し、日本、日本国民によるお見舞いと連帯の意を伝えた。

2 経済・社会

- 7日 ペチョン・ビル市（注：当館所在地）内の高級住宅街モンターニュノワール地区において、路上強盗被害の連絡を受けた警察官が強盗犯と撃ち合いになり死亡した。
- 22日 アルカイエ市刑務所に収監されている266名の囚人のうち、172名が脱獄した。
- 24日 ハイチ国家警察（PNH）報道官補はアルカイエ市刑務所から脱獄した172名のうち10名が逮捕されたと発表、その後アルティボニット県警は更に2名を逮捕したと発表した。
- 25日 WHOの報告によると、ハリケーン・マシュー通過後、国内で新たに2,189名のコレラ感染が確認された。そのうち30%が南県、21%がグランダンス県で発生している。／ハイチ西端のコミュニティであるダム・マリー市において、コロンビアの船舶から救援物資を荷揚げ中、市民と護衛にあたっていたPNHが衝突、少女1名が死亡、5名が負傷した。
- 27日 デルマ市（注：ペチョン・ビル市の隣）において、現役警察官2名及びギャング2名からなる車両窃盗団が逮捕された。
- 9月インフレ率、前年同月比+12.5%。

3 文化・その他

なし